

現在と場所

一本の楓の木の下の 苔むした臺
その背後の地面に 錆びた鎌が
突きささっている 風を切るために
土に還った人の 眠りを守るため

どこにでもあるものには 場所はない

やがて灯明が消え 明け方に月は傾く
鎌の切っ先には 一滴の露が光る

いつでもあるものには 現在はない

この露は 天の水か 地の水か
かくて大地の魂は水 水の身体は大地
かるやかに飛翔する 燕の魂は大気
大気は 燕を身体として 飛翔を得る

どこにでもあるものを つくった人よ
いつでもあるものを つくった人よ
あなたがつくったものは

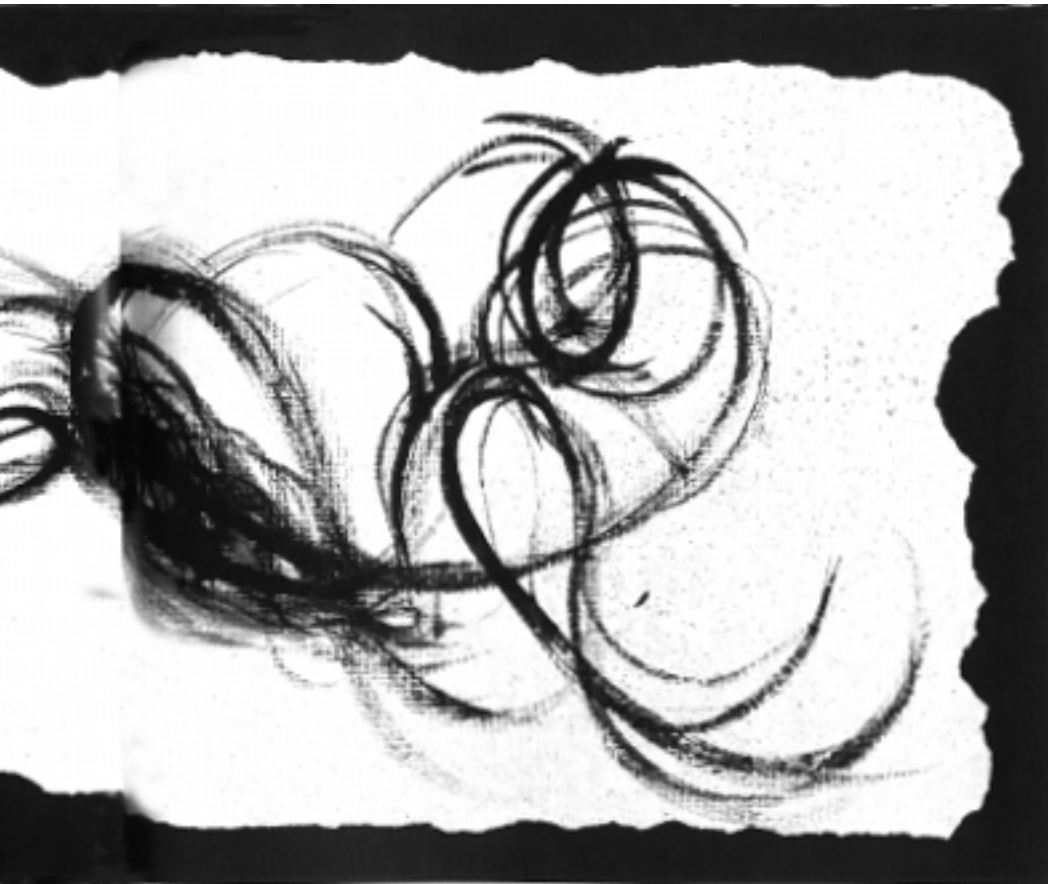
人間から 場所と現在を奪おうとする
人間から 固有の名前を奪おうとする

すべてが可能である場所は どこだろう
不可視が夢でありえる時は いったらう

平田をスツバリと切ると 水がでる

その水をあびたい

鎌が欲しい



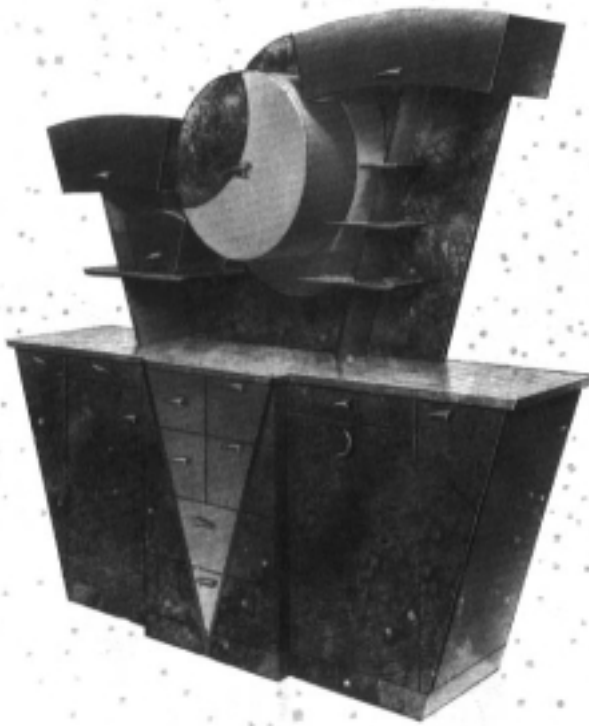
奈村今日子

なむら きょうこ
京都府生まれ。
毎日放送、東映京都撮影所を経て、
1990年、SPOK 設立。
ビジュアルからインテリアデザイン、
都市空間の企画プロデュースに携わる。
びわこデザイン文化協会理事長

<花鳥風月 Kyoko.N 1992>

「天使」という言葉を
 わたくしたちは もたなかった
 不可視の空間のなかに
 天と地の インターフェイス
 花・鳥・風・月を 置こう
 言葉がないとき わたくしたちは

『絶望しながら
 眼に見えるものの 蜜を集め
 眼に見えないものの 黄金の巢のなかに
 これを 保管する』 (ダンテ)



<女体 Kyoko.N 1994>
 -Image of Biwako-

いくつもの皮膚感覚で
 人間はできている
 それらは もつれながら
 からみあいながら
 それを 在らしめる



宇田をスツバリと切ると 水がでる
 その水をあびたい
 鎌が欲しい

すべてが可能態である場所は どこだろう
 不可視が夢でありえる時は いつだろう
 人間的に 匠の名前を奪おいてくれる



<石 柱 戒神社・マキノ町>

真っ昼間 砂漠で
月が欲しいといってやったら
そこらじゅうの砂に
あいつら 穴を掘りはじめた
そして 雨を待とうといった
あいつら 本気が



<鐘 楼 福善寺・マキノ町>

年輪は 水の痕跡
宵ごとに 和尚が撞く
鐘の音が
漣となり 時を刻む
あなた
もう百年待てたら
わたしを あげる

<竹 林 小谷寺・湖北町>

まっすぐに
地から生え 空をめざすもの
月に水を 返すのです
そのむかし
それはそこに 在ったものだから



<籠の錠前 戎神社・マキノ町>

わたしを 抱き上げて
まるで箱のように ゆするひと
この中には なが入っているの？
わたしじゃないよ わたしの素だよ
それはなに？
30リットルの 水だよ
錠をあけて すごし飲みたいな
毒がはいってるのよ

